

首切り許さぬ夫と共に闘う (9/13)各支部家族会交流会ひらかる



十八時半、あいにくの雨の中、夫と、あるいは子供連れの家族会員がかけつけがりをつくりあげることを誓い合いました。

少しでも力になりたい

動労千葉家族会の交流会は九月十三日、動力車会館に家族一〇名が出席して開かれ、首切りを許さず、生活を守るために夫とともに闘い、家族会運動の拡がりをつくりあげることを誓い合いました。

少しだけでも力になりたい
今回の「交流会」は、家族会員が第11回定期大会に傍聴参加した時に懇談会をもち、「少しでも主人達の力になりたい。そのためにも家族の横のつながりを拡げよう。交流会をもとめ」との確認が実を結んで開かれたものです。

「交流会」には中野委員長、布施書記長、桜沢執行委員が出席し、まず中野委員長の話を聞きました。

国鉄労働者・家族

だけへの攻撃ではない

中野委員長は、分割・民営化について話しました。

まず第一に、長期債務十六兆七千億円の国民負担の財源が決まっていないこと。清算事業團に二兆八千億円もの金が必要であり財源がないこと等、分割・民営化しても経営が成りたたず、国民を犠牲にするものである点を明らかにしました。

国鉄労働者の首切り、国鉄労働運動をするものであります。そのうえで、分割・民営化が十万人の

労働組合を戦争に協力する団体につくり変えようとするものであることを説明し、動労千葉は組合員の生活を守るために断固闘うとの決意を述べました。

率直な意見が集中

中野委員長の話を受けて、家族会の質問を受けました。

家族からは、①大量の処分者をかかえ財政的に心配はないのか。②労働組合がなぜ三里塚にとりくむのか。③家族の横の拡がりをつくるよう努力してほしい。

④成田運転区が廃止になつた場合、組合員はどこへ行くのか不安だ。⑤NTT等受験している人達はどう見ているのか。等々、率直な意見が出され、中野委員長が具体的に答弁しました。

「交流会」は、二時三〇分まで続けられ、「第一回交流会」の早期開催と、家族会未結成支部の早期結成、および家族会運動を発展させることを誓い合い、散会しました。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

閉いなくて安全なし

閉いなくて雇用も組織も守れない

閉いなくて賃利が日本労働運動の棘を拓く

本日より大作戦開始

〈闘いの目標〉

1. 分割・民営化絶対阻止
2. 11月大改-44,000人首切り合理化粉碎、運転室確立
3. 「人材活用センター」「広域配属」攻撃粉碎
4. 当局の団体交渉拒否・形骸化弾劾
5. 動労革マル追放・一掃=動労大改革、国労中央の裏切
6. 日帝・中曾根内閣打倒、三里塚二期強行着工阻止 東峰被告三君への重罪判決糾弾

〈具体的方針〉

1. 10月1日以後、3・6協定を破棄する。
2. 10月1日以後、全組合員による非協力・安全確認行動。
3. 国鉄法案粉碎における「10・12国会開闇」の大結集、「11月大改」の山場に合わせたあらゆる戦術の行使。
4. 国会情勢等をにらみつつ、10月13日以後強力順法斗争の断続的展開。
5. 全支部・全職場で「いつでもストライキを実施できる体制」を確立する。
6. 「10・4東峰判決公判開闇」「国鉄法案粉碎、分割民営化絶対反対、10・12労働者総決起集会」を全力あげて勝ちとる。

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二五三五六・(公衆)〇四七二(22)七一〇七
86. 10. 1
No. 2367